

プレ・インターンシップ体験報告

活動先:北九州市手をつなぐ育成会...

体験:福岡・江蘇・韓国障害者交流大会 in 北九州 運営補助 所在地:北九州市...

日程:23年10月23日(1日) 体験者:7名

- ・日本、中国、韓国と三か国合同開催ということだったので、私は、国際交流という視点から参加しました。当日、私は日本の車いすダンスのグループの担当となりました。車いすの方達のお手伝いをするのは、初めてだったのでとても良い経験ができたと思います。

最初のうちは何をやるにも手を出そうとしていましたが、よく観察してみると、みなさん自分でできることは自分でしようとしていて、何でもかんでも手伝えばいいという訳ではないのかなと思いました。ただ、ダンス用のドレスを着るときは手伝いがいるということで、お手伝いをしました。お話を聞いてみると、ドレスは社交ダンス用の普通のドレスで、特に障がいのある方ということで、マジックテープだったり何か特別なことをしている訳ではないということでした。リハーサル前の休憩時間は「ダンスをやりだしてからやせた。」とか「このドレスのこういうところが可愛い。」とか色々な話が聞けました。最後は和気あいあいとした雰囲気、とても楽しかったです。中国、韓国の方々と話す機会がなく、国際交流はできませんでしたが、こういう経験ができて良かったです。

(公共社会学科 1 年)



会場前にて



車椅子ダンスの出演者さんと

- ・今回は実質3回目のボランティアへの参加だった。障がいを持つ方々が様々なパフォーマンスをして下さった。今までと特に違ったことは、韓国と中国からも参加していたことだった。様々な障がいを持つ人々が元気よく、それぞれの形の演出で、演じられているのを見てよかったです。舞台上で笑顔一杯で活動しているのはとても感動しました。特に車イスダンスは全く新しいダンスでとてもすごかったです。片づけをするようになって、韓国のスタッフの方々と協力しなければいけない場面があった。しかし、やはり言語がわからず、とても困った。確かに乗り切ることができたが、相手のやりたい事などがわからず、とても戸惑ったため、4年間で外国語の会話が出来るようになれば、またできることが広がると深く考えた。

(社会福祉学科 1 年)

プレ・インターンシップ体験報告

活動先:北九州市手をつなぐ育成会...

体験:福岡・江蘇・韓国障害者交流大会場 in 北九州 運営補助 所在地:北九州市...

日程:23年10月23日(1日) 体験者:7名

・最初は、どんなふうになるかすごく不安もあったけど、当日は一言で言うとうごく楽しかったです。一緒に仕事をするスタッフさんの中に知的障がいの方がいたんですが、他の人と何ら変わりなく仕事をこなしている姿を見て、偏見や先入観を少しでももっていた自分を恥ずかしく思いました。スピーチ大会では、自分の夢を語られていて、私は今将来の夢をはっきり持てないので、すごいなと思ったし、小さくてもいいから目標を持とう！と思うことができました。

パフォーマンス大会で一番印象に残ったのは、車いすダンスです。車いすバスケットは、見たことがあるけど、ダンスは初めてでした。会場を魅了する美しさで、車いすに乗っているのにも関わらず、動きも綺麗でキレもあってみとれてしまいました。後は、バンドで、長淵剛の乾杯を歌っている時に舞台裏で準備していたダウン症の方が隣で手話で歌ってくれて、その手話がすごく力強くて、本当に感動しました！！今回ボランティアでは、交流もできたし、素敵なものも見れて、すごくいい経験になりました。

(社会福祉学科 1年)



・私は今まで障がい者の方とふれあう機会がほとんど無かったので、今回、障がい者の方と一緒に運営のお手伝いをさせていただく中で、障がい者の方と楽しく交流しながら、私自身のコミュニケーション能力の向上にも繋げることができたので良かったです。はじめは緊張していたけど、障がい者の方が積極的に私に話しかけてくれたので、だんだん緊張もほぐれ、私も積極的に会話ができるようになったし、実際の職員の方と障がい者の方とのコミュニケーションの取り方もとても参考になりました。ステージ発表では障がい者の方が堂々と自信を持って楽しそうに発表されていたのがとても印象的で、障がい者の方でもあたりまえに私達と同じであり、また私達以上にできることもたくさんあるのだということを実際に見て、改めて感じる事が出来ました。また今回、中国、韓国、日本それぞれの発表を見て、その発表にも各国の文化の特徴が表れており、日本の文化の良さを再認識し、他の国の文化のすばらしさも知ることができたので良かったです。それに加え、ステージ発表の準備をして、自分に与えられた役割に責任を持つことの大変さ、大切さを感じられたり、障がい者の方だけでなく、現場のスタッフの方々からもお話が聞けたり、交流出来たり、様々な面から見ても、私にとって多くの事を学べた良い機会となりました。

(社会福祉学科 3年)

プレ・インターンシップ体験報告

活動先:北九州市手をつなぐ育成会...

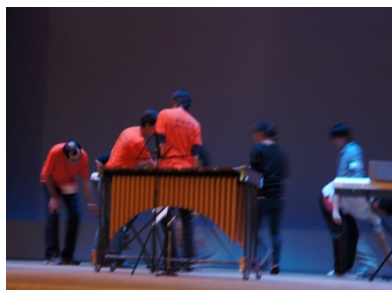
体験:福岡・江蘇・韓国障害者交流大会場 in 北九州 運営補助.....所在地:北九州市...

日程:23年10月23日(1日).....体験者:7名

- 私は舞台設営のボランティアをさせていただきました。スピーチ大会や日本、中国、韓国の障がい者の舞台発表を舞台そでから拝見しました。スピーチ大会では、自分自身に自信を持つことの大切さを学び、夢を持って、毎日何か努力する姿にとっても感動しました。舞台発表では、練習を重ねた障がい者の方々の演奏やダンスといった力強いパフォーマンスにとっても心動かされました。私は、出演者の方々の舞台裏での様子や、通訳の方を介して会話する人々、司会進行、スピーチ大会の誰かが何かを発言するにも 3ヶ国語の訳がつくところを見て、まず言葉の壁を感じました。韓国語も中国語もまともに話すことができない私にとって、自分の言いたいことを伝えられない、相手が何を言っているのかも分からないということが、とてももどかしく、悔しくてたまりませんでした。そのような中で、私は韓国人の方が英語で会話できることに気づき、良いコミュニケーションが取れました。その方とは、最初、私自身が韓国語で話すことしか考えておらず、コミュニケーションをとる事を一度は諦めてしまい、会話をすることもできませんでしたが、後悔とその気づきがあってからは、自分から、積極的に話しかけて、その方と楽しく、笑いながら話すことができました。

国際交流をしたい、他国の方とも会話をしたいと強い意志を持ち、言語を怖がらずに行動を起こせば、必ず分かり合えると思いました。私はこのボランティアを通して、貴重な国際交流が出来ました。

(看護学科 1年)



- 当日は、何をやるのかわからず、障がいを抱える方との交流に不安もありました。しかし、障がい者ということを感じさせないパフォーマンスや、利用者さんもボランティアで同じ作業をしていて、交流出来たし、楽しかったです。障がい者と聞いて、一度ひいてしまう様なイメージかもしれませんが、当日になると、私たちと変わらないと思いました。また、ボランティアに行くまでは不安もあるが、楽しさは参加してみないと分からないと思いました。今回は利用者さんとの交流が多く、韓国、中国の方との交流はあまり出来ませんでしたが、何を体験できるか、行ってみないとわからないので、色々体験したいと思いました。

(社会福祉学科 1年)